

白楊ヶ丘 札幌

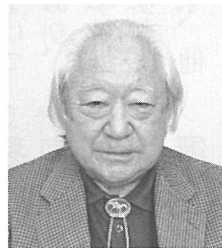
No.25 平成21年6月19日

白楊ヶ丘同窓会札幌支部

(〒060-0061 札幌市中央区南1条
西11丁目 TS札幌ビル
公認会計士・税理士 酒井純事務所内)

会報発刊に寄せて

札幌支部長 高島 巖



白楊ヶ丘同窓会
札幌支部
会員の皆

様、お元気で過ごしのことと存じます。

この頃の世の中の動き、景

気のいい話は少ないのですが長く続く平和の世相に馴れて緊張感を欠いているようにも思われますけれども、皆様はどのような感じでおられるでしょうか。

今年もまた札幌支部総会の

行なわれる六月がやってきました。例年になく多数の会員が参加されるといいなと思っておりますが、そのためには魅力的な会にしなければなりません。そうするためにはどうするのがよいか、考えさせられる日々です。

多様な人間関係が存在する中で、僅か三年程度の交友関係を絆とする高校同窓会が、人生にとって何ほどの意義を持つことなのか、考えさせられることがしばしばですが、

理屈はともかく、旧友に会うという楽しみというか喜びというか、抜きがたい感情が存在していることは確かかなようで、そこにこそ、その存在価値があるということなのでしょう。

札幌支部は、熱心な幹事諸君の努力で例会が続けられておりますが、一般会員もその苦勞の一端を偲んで、積極的に行事に参加されますように望んでやみません。

また、何時も思うことですが、新卒者が進学して札幌に來られたら、八方手を尽くしてこの会に参加されるように努力して欲しいものと思えます。

卒業証書授与式

白楊ヶ丘同窓会会長 三ツ谷 富夫



第二十九回白楊ヶ丘同窓会札幌支部

部定期総会・懇親会のご盛会を心からお慶び申し上げます。

恒例の同窓会員による講演会、懇親会の開催・運営を始め会報の発行など、同窓会活動に携わる幹事の皆様のご苦勞に心から敬意を表します。

昨年九月十四日開催の本部定期総会役員改選において、辞任された副幹事長一名と会計監査二名の後任者が新任された他は現役員が再選となりました。どうか今後とも本部事業に対するご理解とご協力のほど宜しくお願いします。

これまでも「白楊だより」で述べてきた同窓会の法人化についてであります。昨年

十二月一日所謂「公益法人制度改革三法」が施行され、中間法人としての法人化は不可能となり、一般社団法人としての法人格を取得するかどうかについて再度仕切直しという現状であります。この課題については多くの会員の皆様のご意見をいただきましたと存じます。

この三月一日に全日制二二三九名、定時制三八名合計二七七名の卒業式が行なわれました。

全日制卒業式後の卒業記念祝賀会・同窓会入会式におい

て第一期新入会員を迎えました。卒業式の余興で音楽を志す新会員が歌った「千の風になって」には拍手が鳴りやみませんでした。大成が期待されます。

体育館で行なわれる卒業式で、毎年感動を覚えるのが定時制の卒業式です。卒業証書授与で、名前を呼ばれた生徒が登壇するとき原稿用紙一枚以内に纏めた在学中の思い出や感謝の言葉がテープで流されるときです。また、卒業生答辞の際、館内には「仰げば尊し」のメロディが流れ、卒業式の歌は「螢の光」を式歌として合唱するのですが、五十年以上の昔を偲ばせてくれ胸が熱くなります。

本日の札幌支部総会から各支部での総会がスタートしますが、昨年の本部総会・懇親会の参加者が二九八人と三〇〇人を割ってしまいました。今年の九月一日は月曜日です。役員会でも出席者確保に知恵を絞っているところです。

世間は余り芳しくない話題ばかりで、日本ハムファイターズの活躍が唯一明るい話題とこの懇親会では、前進的な意見交換を交え、大いに盛り上がりたいたいものです。

真のエリートを育て

世界に発信できる高校を



北海道函館中部高等学校長

黒田 信彦

本道には進学校と呼ばれている高校が札幌市や各地方都市に存在しているが、その中でも函館中部高校は実に面白い学校である。何が面白いのか

例えば、明るく素直で余力があつて、将来楽しみな生徒が大変多い。そして教職員は、共通の思いで生徒の進路に責任を持ってしっかりと取り組んでいただいている。

しかし、市内には本校と切磋琢磨しながら学校の特色を打ち出し、進学実績を上げていく私立高校や高専があり、高校受験の際には、私学の推薦入試の合格などにより本校受験の辞退者が例年多く、他の都市部の進学校とは様相が大きく異なっている。現在、少子化が急速に進ん

でいる中で、本校に対する期待に応え目に見える成果を出さなければ、中部高校と云えど安心してはいられない。

私は校長であると同時に本校の卒業生として、中部高校は常に全道のトップクラスを維持できる学校でなくてはならないと思っており、一部の生徒が受験辞退したり合格後に他校に行ったとしても、本校の生徒には卒業時に逆転している学力を育成し、進路実現を図ることが本校が頂点に定まるための必要な条件だと思っている。

本年四月に教職員に対して国立大学の現役合格者数から分析した現状と課題解決に向けた講話を行なったので、その一部を紹介したい。

「国立大学現役合格者数(平成二十年三月卒業生)の分析から見た本校の役割」

一 実態分析

(3)地元大学への合格者数

高校→大学	人数
○小樽潮陵→小樽商大	30人
○帯広柏葉→帯広畜大	17人
○旭川東→旭川医大	15人
○室蘭栄→室蘭工大	14人
○北見北斗→北見工大	10人

(2)道外国立大学占有率

順位	学校名	割合
1	函館中部	61.5%
2	岩見沢東	43.6%
3	旭川東	37.4%
4	札幌南	32.4%
5	室蘭栄	31.9%
6	北見北斗	29.6%
7	帯広柏葉	29.4%
8	小樽潮陵	18.0%
9	札幌東	17.5%
10	札幌北	16.9%
11	札幌西	13.4%

(1)一クラス当たりの現役合格者数

順位	学校名	人数
1	札幌東⑧	22.8人
2	旭川東⑦	19.6人
3	帯広柏葉⑧	19.6人
4	札幌北⑧	19.5人
5	室蘭栄⑥	19.3人
6	北見北斗⑥	19.2人
7	札幌西⑧	18.1人
8	岩見沢東⑥	17.7人
9	函館中部⑥	15.7人
10	小樽潮陵⑦	14.4人
11	札幌南⑧	13.9人

(○は学級数)

(4)難関校への合格状況

- 東北大ー函中(4) 岩東・室栄・帯柏・札東(2)
- 東大ー札南(11) 札北・旭東(5) 小潮陵(2)
- 東工大ー札北(4) 札南・旭東(2)
- 一橋大ー札東・札北(3) 函中(1)
- 京大ー札南(4) 札西(2) 函中・岩東・旭東・帯柏(1)
- 慶応ー札南(7) 函中・帯柏・札北(4) 旭東・札東・札西(2)
- 中央大ー旭東(20) 帯柏(17) 北見北斗(15) 室栄(12) 札東(11)
- 早稲田ー札南(16) 旭東(12) 札西(8) 函中・帯柏・札北(7)
- 立命館ー旭東(12) 函中・帯柏(6)



二 本校の置かれた厳しい状況と課題解決に向けて

(一) 地元で大学がない

教員養成課程のない教育
大学と工学系に純化した未
来大学では進路が限定され
る。それに、昭和四十八年
(一九七三年)の医科大学
誘致合戦で旭川に設置した
影響が残っている。

函館には大手企業がなく、
大学卒業後の就職先が少な
い。

(二) 私立高校(ラ・サール、
白百合、遺愛)と高専の

根強い人気と進学実績

私立三校はブランド校の
イメージが強く親や兄弟が
卒業した高校への進学希望
者が多い。また、少子化の
中で私立は生徒募集にあの
手この手で迫っており、セー

ラー服に憧れて私立に流れ
る生徒もいる。医者の子ど
もは私立に行く傾向が強く、
私立では毎年コンスタント
に医学部や東大に合格させ
ている。旭川、帯広、小樽、
室蘭、釧路などにも私立は

あるが、大学進学の実績は
函館の私立とは比べものに
ならない。

相当以前から中学校の進
路指導では、中部高校は二
番手校扱いの傾向があり、
特に、附属中学校の進路指
導が変わらなければ現状打
破は難しい。

中部には「自由」という
雰囲気があり、今の親はそ
れを好まないかも知れない。
高校入試の受験辞退者が
中部も私立も多く(一五〇
人)、函館だけの特徴で
ある。

(三) 北大よりも本州に目

が向いている生徒が多い
道外を希望すればそれだ
け厳しい受験競争になり、
高望みして浪人する生徒が
多いが、浪人後に国公立に
合格する生徒は少ない。

札幌市内高校は、北大に
進むのが経済的にも無難で
当然という風潮が強いが、
中部は昔から私立大学希望
者も多く、有名難関私大に
挑戦し実績は上がっている。

(四) 勉強に真剣に取り組
む時期が遅い

初心を忘れてしまう生徒
もいて文武両道とは名ばか
りになっており、中部に入っ
ただけで満足してしまう生
徒も見られる。対外試合に
慣れておらず、札幌のよう
に予備校がない影響も大き
い。

しかし、素直な生徒が多
いので、鍛え方次第でどこ
までも伸びる可能性がある。

(五) 課題解決に向かって

入学時に他校と差があっ
ても卒業時には逆転できる
学力を育成しその実績が現
われて初めて中部は内外か
ら認められることになる。

自主自立、自由闊達の精
神は生かしつつも、本校の
役割を踏まえ「目を向けさ
せる指導」が必要であり、
医学部進学と海外大学進学
が当面の大きな目玉となる。
そのための教師陣は、相当
充実させている。

本校に対しての期待は大
きく、成果が問われている。

成果が上がった学年団があ
れば、それを吸収して真似
して更に改善しなければ一
過性の結果に終わってしま
う。組織的、計画的、意図
的に実行しなければ空回り
するだけである。

日本一の学校を目指せる
要素は十分に揃っている。
駒大苫小牧が良い例である。

北海道は雪のせいで練習が
できないとか、グラウンドを
使える時間が少ないとか、
負けたときの理由ばかりを
述べてきたチャレンジ精神
がなく、二、三回勝ち進め
ば「まあこんなものだ」と
満足してしまうところにそ
れ以上の進展はなかった。

北大合格者の倍増でも、
国公立大合格者の倍増でも
いい。何か大きな目標を据
えてそれに向かっていけば、
そのことだけにとどまらず
全てがよい結果に繋がって
いく数字が全てではないが、
数字は正直で動かすことが
できないものである。

本校の学校行事は伝統的
であり安易に減らさない方
が良い。何故ならば、勉強

時間が少ないから行事を削っ
てみて、どれだけの成果が
期待できようか。人格の完
成に向けた幅広い教養と高
い学力を身につけることが
出来る生徒が揃っているは
ずである。そういう力強い
人間を育てるのも本校の大
きな役割である。

生徒の進学希望先にもよ
るが、現役で合格させるの
は教員の力で浪人して合格
させるのは予備校の力であ
る。良い指導者に巡り会え
ば部活動の成績も飛躍的に
伸びているし、良い指導者
に巡り会えば大学入試の成
績は飛躍的に伸びている。
「教育は人なり」に誤りは
ない。

入試を戦うには個人の成
績の伸長だけを見るのでは
なく、競争相手の学校の状
況分析を欠かすことなく、
戦略をもって臨まなければ
結果は付いてこない。



東京支部だより



白楊ヶ丘同窓会東京支部長

安田 康次

(第六十七期・昭和四十年卒)

札幌支部の皆さんこんにちは。

昨年に引き続き、ご招待有難うございます。

昨年、アメリカのサブプライムローン問題から始まった金融不安は、国内にも広まり、雇用問題など現役の皆さんには、北海道の経済もますます難しい状況で、大変大きな不安となっている事と思います。そんな中、今年も総会に出席できる事、大変うれしく思っております。昨年は支部長就任後、初めて参加させていただきました。盛大な会に驚きました。又、六十七期(S四十年卒)の同期生がたくさん出席していただき感謝しました。中には卒業以来という友

況をお知らせしたいと思えます。

今年四月二十一日に評議員会を開催させていただきました。二十一年度の事業計画を承認いただきました。

どこの支部も同様の問題とは思いますが、会員の減少(会費納入者)にこのままでは、東京支部の存続まで考えていかねばいけない状況に悩んでおり、いかに楽しい、魅力ある同窓会にしていくか努力しております。

今年の東京支部親睦大会は、七十九期生(S五十二年卒)が幹事期となり、二月二十四日(出)一四時〇〇分より、虎ノ門・霞山会館で行われる事になりました。今年始めより幹事が頑張っております。是非、札幌からも御都合のつく方は、ご参加いただければと思います。

また、この親睦大会に向けて、「東京白楊だより」三十二号を発行いたします。「東京白楊だより」は評議員を始めとする同窓生の皆

様の投稿によって作られております。もちろん札幌支部の皆さんの投稿も大歓迎いたします。期の紹介など何でも構いません。是非、お願いいたします。

東京支部では、同窓生が閲覧して楽しく、有益な情報が得られる、インターネットのホームページ(H.P)を開設しております。今後とも内容をますます充実させるために、HPに掲載する情報を同窓生の皆様から広く募集しておりますので、ご応募をお待ちしております。

渉外活動も積極的に行っており、母校、本部、他支部及び他校同窓会との交流を図っております。特に、西校、東校とは年一回「函館巴会ゴルフ」の名称でコンペを開催して親睦を図っております。(函中はしばらく優勝出来ていませんけど。)

これからの同窓会を考えた場合、若手の会員が多く参加してもらえような会にして行くことが、同窓会

の発展には必要なことと思っております。

そのためには、何を、どうしたら良いのか、理事共々悩んでいるのが、現状です。最後になりますが、白楊ヶ丘同窓会札幌支部のますのご発展と、高島支部長をはじめ札幌支部の皆様のご健勝を心から祈念申し上げ、再会出来るのを楽しみにしております。



還暦の同期



山川 美千代

(旧姓・内海)

(第七十期・昭和四十三年卒)

私たちの同期会をご紹介
致したいと思えます。

まず始めに、今年は四十
三年卒の私たちは早いもの
で六十歳の還暦を迎える年
になりました。

始まりは、偶然札幌の街
でばったりと出会った吉田
君と今さんが発起人となり、
二十九歳頃から毎年九月に
同期会を開催することにな
りました。

同窓会には、事務局や役
員が決まっています。幹事
は、例年、翌年の幹事を同
窓会のときに決めて、翌年
の会を開催しております。

こうして、四十年間もよ
く続けておりますが、二十
歳代から六十歳までの私に

その二

四十歳から五十歳代

この頃、子育ても一段落
し、好きな建築の仕事をする
ため大学の聴講生として
通い学位を取得したり、資
格を取ったりしていたため、
夫と一年おきに同窓会に出
席するようになりました。
そうすることで何時も生活
が一緒です。二人で出席
すると日常の延長になって
しまうことに気付き、以来
は一年おきに一人で出席す
る年が増えました。

この時代は、男性、女性
ともに転勤などで欠席され
る方もいて、また、早くに
亡くなられた方の告別式に
みんなで参加するなど、そ
れぞれが社会的にも責任の
ある立場となり、人生にお
いて一番波乱に富んだ時期
でしたが、同窓会は一年も
休むことなく参加して参
りました。

その三 六十代に突入
昨年は、卒業四十周年記
念として、函館や東京から
も参加して、総勢五十名で
全日空ホテルにおいて開催

されました。札幌の幹事さ
んが函館の幹事さんに働き
かけて実現したものです。

当日は、七クラス順に三列
の向かい合わせの席が設け
られ、一人ずつ自己紹介を
して一次会を終わり、二次
会で大いに盛り上がりまし
た。時間がタイムスリップ
した思いがして懐かしく、
高校時代の仲間とこうして
会えることは本当に嬉しい
ものでした。

これからは毎年出席した
いという女性(旧姓・張さ
ん)もいて、今年からまた
楽しみが増えました。その
方はお子さんが札幌にいる
ため、時々札幌に来られて
いたそうです。

六十歳という人生におけ
る一つの節目の時を迎え、
また、六十代なりのいい同
期会が続いて行くことでし
ょう。この同期会は、私たち
七〇期の素晴らしい心の財
産となってきました。

今までの人生において、
何か重大なことがある度、
函館中部高校の同期や先輩、
後輩が温かい手をさしのべ

て下さり、陰から私を助け
て頂きました。夫や子ども
が病氣なった時に相談に乗っ
ていただいた同期の医師の
仲尾さんや住宅ローンや事
業資金でお世話になった道
銀の立川さん、私が独立し
たとき、真っ先に工事をし
てくれた同期の吉田さん、
不動産の法律が分からなく
て困っていたときに温かい
応援をして下さった弁護士
の藤田さん(七二期)。夫
の仕事の応援をしてくださ
った方や、偶然自宅がすぐ近
くで当社で工事をしてくだ
さった高校一年の時の担任
の浄土先生、聴講生として
通っていた大学で学長をさ
れていた先生など、各界で
立派に活躍されている方々
に多くの援助のお心をいた
だいて参りました。その度
に嬉しく、函館中部高校の
同窓の皆様を誇りに感じた
ものです。

私事になりますが、主婦
から独学を始めて起業をし
た建設業も今年で十五年目
となり、今話題の政府の内
需拡大対象であり、一酸化

炭素対策である長期優良住宅を建てられる会社に成長させることができました。

これも、陰ながら応援してくださった同期・同窓の皆様や地域の皆様の支援があったからこそです。遅咲きの会社ではありますが、よりよい建築を作り続け、函館

中部高校卒として恥ずかしくない会社を目指し頑張っているところです。

今年もまた、九月始めに同期会が行なわれるのが、今から楽しみです。今年も東京、函館、その他の皆さんもどうぞ沢山参加して下さいようお願いいたします。

三泊で、二十六日に日本に戻る六泊八日の旅行を計画しました。

日本語補修校というのは、平日は現地の学校に行っている日本人の小中高生を対象に、土曜日だけ日本語で授業を行う施設で、全米に五〇箇所以上あります。テ

根拠です。とは言え、家族のこともあり、決行を危ぶむ声があったのも事実でした。

◆ ◆ ◆
この旅行に参加したのは男四人、女二人で、東京のSFさん、函館のW君とSYさん、札幌からTO君と私、それに上海のTS君です。五月十九日の午後四時までに成田空港に各方面から集合し、午後六時五分発のAA二六八便でニューヨーク

替のJAL便で翌日の午前中にニューヨークに到着し、その日の午後には予定していた半日ニューヨーク市内観光に無事、合流できました。半日観光では、セントラルパーク、グラランドゼロ(九・一一の現場)、チャイナタウン、ソーホーなど、ニューヨークの名所を日本人ガイド付(兼運転手)で回りました。翌日の朝は少しのんびり起きて、ホテル隣のグラランドセントラル駅で朝食を取りました。グラ

同期会紹介

平成二十一年志丸会のアメリカ旅行

西堀元朗

(第六十七期・昭和四十年卒)

昭和四十年卒のわれわれ「志丸会」(しまるかい)は、平成二十一年に四回目の海外旅行を行いました。それ以前の三回は中国でした。札幌在住だった同期のTS君が設計事務所を畳んで上海に渡り、向こうで一人で頑張っているから「激励しに行こう」と、中国に三回

の旅行を実施しました。今回は同期のS君が、テネシー州の日本語補修校の校長になって昨年から赴任しているので、S君を激励しに行くことにしました。テネシーは五月がベストとのことで、ゴールデンウィークを外して五月十九日に成田出発、ニューヨーク三泊、テネシー

の旅行を実施しました。今回は同期のS君が、テネシー州の日本語補修校の校長になって昨年から赴任しているので、S君を激励しに行くことにしました。テネシーは五月がベストとのことで、ゴールデンウィークを外して五月十九日に成田出発、ニューヨーク三泊、テネシー

の旅行を実施しました。今回は同期のS君が、テネシー州の日本語補修校の校長になって昨年から赴任しているので、S君を激励しに行くことにしました。テネシーは五月がベストとのことで、ゴールデンウィークを外して五月十九日に成田出発、ニューヨーク三泊、テネシー

先発の四人は予定通りニューヨークに着き、ホテルへの無事に済ませたようです。遅れたわれわれ二人も、振



New York City



ロシアのエルミタージュ美術館と並ぶ巨大施設です。展示品の量が膨大なので、焦点を絞って見ないと疲れてしまいます。私は甲冑の部を重点に見ましたが、ヨーロッパだけでなく、中国、トルコ、モンゴル、そして日本と珍しい甲冑が目白押しで、非常に楽しめました。そのあと、近くにあるグッゲンハイム美術館（の外観）を見に行きました。これは帝国ホテルを設計したライトの手による、らせん状に展示空間を配した珍しい形式の美術館です。

午後はMOMA（現代美

術館）を見学しました。こ
こは、超有名現代芸術家の、
超有名作品（例えばモネの
睡蓮など）が身近に見られ
るフレンドリーな美術館で
す。
チャイナタウンでの夕食
後、更に足を伸ばして、エ
ンパイアーステートビルに
行きました。この日は快晴
で、八八階の展望台から見
るニューヨークの夜景はと
ても輝いていました。この
日は一日地下鉄で動き回っ
て、多少疲れはあったもの
の、非常に充実した一日で
した。

さて四日目は、今回の旅

のメインであるテネシー州
ナッシュビルに飛びました。
ナッシュビル空港にはS君
が出迎えに来てくれていて、
皆で再会を喜びました。ナッ
シュビルは、知る人ぞ知る
カントリー&ウエスタンの
メッカ。街のニックネーム
も「ミュージック・シティ」
です。函館のW君はこの分
野の「通」で、彼の希望で
「Grand Ole Opry（グラ
ンド オール オプリー）」
がセットになったホテルを
S君に予約してもらいまし
た。

「Grand Ole Opry」と

は、全米に生放送されてい
る、カントリー&ウエスタ
ンの公開ラジオ番組です。
この放送は七十年以上の歴
史を持つ全米最長寿の番組
だそうで、大ホールに次々
と現れる往年の歌手から今
日がデビューという新人ま
で、すばらしい歌と演奏で、
あっと言う間の二時間でし
た。

翌日は、S君が校長をし
ている「中部テネシー日本
語補修校」に行き、各学年

の授業の様子を見せてもら
いました。また「国際字級」
という、家でも英語が中心
の日系の子供達に日本語を
教える教室で、われわれの
話（自己紹介程度ですが）
がどのぐらい理解できるか
のテスト、兼意見交換など
もしました。

午後は、S君の車でテネ
シー州の東部にあるチャタ
ヌーガに移動しました。チャ
タヌーガは、かつては工業
都市として栄えましたが、
その後、公害問題で一時さ
びれ、それを再開発して観
光都市に生まれ変わったと
いう特異な歴史を持つ都市
です。

ここでは、町を一望でき
るケーブルカー（インクラ
インという）で山に登った
り、「川の水族館」と「海
の水族館」からなるユニー
クなテネシー水族館を見学
しました。

チャタヌーガの再開発の
拠点「チャタヌーガ チュ
ウチュウ」も見学しました。
ここは鉄道が廃止され、廃
屋同然になっていた駅の施

設を、ホテルを中心とする
複合観光施設として再建し
たもので、アメリカの再開
発の成功例として知られて
います。



最後の日は、S君の家に
全員で宿泊し、テネシーウ
イスキーで乾杯して、また
の再会を約束しました。今
回の旅行は、インフルエン
ザ流行中にも拘らず、多少
無理して実行した旅行でし
た。参加した皆も多少の無
理は承知で、この機会を逃
せば次は無いかもしいない
という思いで出発に踏み切
りました。多少のハプニン
グもありましたが、当初の
予定は全部こなし、補修校
の子供達と交流もでき、お
天気にも恵まれ、元気で無
事に戻ってこれたのは、ほ
とんど奇跡に近いかもしれ
ません。
毎年歳を重ねる毎に、少
しずつ旅行が億劫になりつ
つありますが、また何か理
由を見つけて、これからも
志丸会は旅行にチャレンジ
し続けます。

水平線は見えた

榎本文子

(定七十七期・昭和四十三年卒)

色は、まるで新しい街に来たような気持ちで眺めていました。

四十年ぶりの学舎は、写真

で見ていたよりも立派で、見とれてしまいました。校庭をウロウロと歩いて、校舎に入ります。卒業生であることを告げると、教頭先生が案内して下さいました。

の休み時間のおしゃべり、京都への修学旅行、球技大会、制服廃止のディスカッション。私は成人になってからもセーラー服を着て通学していました。四十六年に制服が廃止になったと聞いております。今は、私服、ピアスも染髪も自由な校風になっていました。

突然の来訪者なのに、校舎の主だった場所を見せて下さり、屋上へと足を進め、重いドアを開けて下さいました。そこから紺碧の空と水平線が目飛び込んできたのです。

身近にあった津軽海峡の海は、四季折々に美しいと何時も思うのです。

自主自立、自由闊達、質実剛健、不撓不屈の白楊魂が、頑張れた原点と自負しています。

水平線は見えました。夕陽に照らされた臥牛山も近くに見えたのです。感激で

一、二年目は函病で准看護婦をしながら、三年目は七飯の国立第一療養所附属看護学院の学生寮からの通学でした。中部高校の定時制に入学したいと思ったのは、准看護婦養成所の国語の授業を担当された米沢先生との出逢いです。中学校の森先生が再々家庭訪問をして下さり、母に進学を熱心に勧めていたのを聞いていました。全日制は無理でも、定時制にはいつか入学したいと思いつける切っ掛けをいただきました。入学までの三年間は色々ありましたが、大変な手続きがあったからこそ入学できた時の喜びは大きかったです。

母校と札幌支部のますますの発展を願っております。

忙しいうちに、快く同行を引き受けてくれました。

日程を決めて、高速バスの予約を取り行動に移しました。函館までの車中では、学生時代の思い出に耽り、あつという間の五時間でした。

札幌支部総会に初めて出席したときは緊張しましたが、その場に在るだけで、何かしら懐かしく、安堵感がありました。全日制も定時制も分け隔てのない場でした。今では年に一度の私の贅沢の場となりました。

江差の海で産湯を使い、大森浜で遊び、学舎からは津軽海峡の水平線を見ていた。海との縁が深い。だから時々海を見たくなり、近郊の石狩、銭函、厚田へ。小樽、苫小牧からフェリーで旅をします。一昨年は三

か月地球一周の船旅をしました。毎日、心ゆくまで水平線を見ながら、ゆったり、ゆったりと時を過ごしました。

四年間の思いでは沢山あります。担任の杉本晃一先生の古典の授業、同級生と

水平線は見えました。夕陽に照らされた臥牛山も近くに見えたのです。感激で

上げます。

原稿依頼の封書が届き、昨年の総会の帰り際に名刺をいただいたことを思い出しました。先輩は支部報の編集を十年余り続け、ご苦労されていらっしゃる。断れずに曖昧にしていたのです。文章を書くのは大の苦手で、いつも逃げていたのに……。

慌てて白楊ヶ丘札幌を読み返してましたら、目に止まった文章が『函館の原風景は、函中の窓を通して眺めた津軽海峡の水平線です。一日数時間、四年にわたって眺め続けたわけですから当然のことでしょう。』

駅前に出迎えて下さった級友と、早速、中部高校へ向かいます。車窓からの景色は、まるで新しい街に来たような気持ちで眺めていました。

高島札幌支部長さんの巻頭文です。

教室から水平線が見えた

教室から水平線が見えた

教室から水平線が見えた

教室から水平線が見えた

教室から水平線が見えた

教室から水平線が見えた

中部高校時代の思い出

佐藤 弘章

(第一〇一期・平成十一年卒)

私は平成十一年卒、一〇一期の佐藤と申します。昨年二十年度の総会より参加させて頂いております。札幌支部では年齢が若いことで目立ってしまうようで、今回の寄稿の依頼を受けたところです。二千字クラスの文章など学生以来書いていません、とても自信がありません。拙い中身になります、優しい気持ちを持って読んでいただけると嬉しく思います。テーマは「中部高校時代の思い出」。

どの場面もキラキラと輝いているように思います。活動としては、年に二回大きな大会がありまして、それに向けて作品を作り上げるのがメインです。その他には学校行事の放送運営や、白楊祭ビデオの作成なども行っておりました。局員は入局後しばらくして、自分などの方向性で活動しているか決断します。アナウンサー、ラジオ班、テレビ班といった具合にです。ちなみに私はラジオ班からスタートでした。私の代は男子二人、女子が一〇名程度といった具合でしたね。あく懐かしい……。すみません思わず浸ってしまいました。なんととっても大会に向

けての活動に力を注いでいました。アナウンサーは自分で原稿を作るところから始め、出来上がるとすぐに喋りの練習をします。朗読の部というのありまして、ここでは情感たっぷり読み上げるよう練習します。函館は「なまり」がありまして、新人はここから直していくことが必要でしたね。私はアナウンスは取り組みませんでした、同じ空間にいたせいか函館弁はすっかりなくなっていました。札幌の方には驚かれます。それだけ函館弁の印象は強いのです。皆さんも函館に帰って会話をすると、「あく帰ってきなあ」とお感じになったことはあるのではないのでしょうか？それを直さなきゃいけませんので大変なのは想像できると思います。

ラジオ・テレビ班はどうするかという、まずはどんな作品を作るのか企画から始めます。イメージが湧いてきたらシナリオ・脚本作りです。ここが一番つらい作業で、なかなか顧問から完成・OKの言葉がもらえないんですね。おそらくクラスの授業中も「どうしたものか?」「どうすればもっと伝わるか?」などと四六時中、作品のことを考えていたように思います。もう録音しないと！編集しない！と！締め切りに間に合わない！というところまで引張った事が多かったと思います。それでも間に合わなくて、定時制の授業が終わったあとに夜警さんにご協力いただいて、夜遅くまで活動したということもしました。今はそれは厳しかったです。今でもあれはあの頃の学校はだいたい生徒のわがままを聞いてもらっていたように思います。また、よくテレビでミュージシャンのレコーディング風景が映ったりしますよね。あの感じでラジオドラマの録音とかやっていました。テレビ作品では一人で何役もしたり、私は先生の役、夢に出てくる悪魔の役なんかもありました。あっ、そうそ

う校長先生の役を挑戦した時の話ですが、ネクタイの結び方で困っていたところ、偶然通りかかった本物の校長先生に結んでもらって演技指導も受けたこともありましたね。こういった準備を二ヶ月間ほどで終わらせて大会に臨みます。他校も同じように努力して参加してきます。その中でトップを取れたとき、全道大会の切符をつかんだ時、はたまた全国大会出場が決まった時は最っ高に！嬉しかったですね。みんなベソかいて喜び合いました。ちなみに私の作品はすべて地区大会で敗退しましたが。ちょっと恥ずかしい。またこういった面もあります。実は私達が良い成績を残せたのは先輩達の礎があったからということ。発声・滑舌の練習方法、撮影・録音技術の継承などがあっての結果でもありました。優秀な同期の名誉のために一行付け加えます。もちろん自前で考えた、努力をした部分もありますよ。シ

ナジー効果とっていいの
か、積み重ねというか、振
り返ると本当にそう思いま
す。それが今も続いている
(そうだと信じています)。
嬉しいのは私の後輩達、そ
のまた後輩達も大会ではよ
い成績を収めているんです。
全国大会で入賞した後輩も
出てきたと聞いています。
嬉しいですよ。全国大会
で入賞するとNHKで全国
にオンエアしてくれます。
後輩の私は見逃してしま
いましたが、これは想像する
だけでも感慨深いものがあ
ります。今後も放送される
機会があるかもしれません。
皆さん気づいた時はラジオ・
テレビをチェックしてみ
てください。後輩が頑張っ
ています。

同窓会について少し書かせ
ていただきましょう。去年
から参加していますが、最
初の動機は下心でして自分
の仕事に繋がる人との出会
いを胸に秘めておりました。
ですが、そんなもんはどっ
かにすっ飛んでしまいまし
たね。少しわがままを聞い
ていただいて、事務局のオ
ブザーという形で会議
にも出席させて頂いていま
す。とても人間味のある、
豊かな人たちばかりでい
つも私は興奮してしまいま
す。年代的には全員が先輩
にあたりますから、ね。そ
して先輩達の同窓への思い、
ひしひしと伝わってきます。
総会に出ると余計にですよ
ね。人数が多いですから全
員とお話はできませんが、
この人数のもたらすパワー
は日常ではなかなか味わえ
ないエネルギーを感じます。
同年代にも味わって欲し
いです。私はさびしいも
んで札幌に居る同期をあまり
知りません。しかもほとん
ど参加を断られました。残
念です。みんな遠慮するん



函館中部高等学校 卒業55周年 福祿会 平成21年5月21日 於 函館湯の川グランドホテル



桜の木の記念植樹を行った。

ですよ。え。どうしてなん
だろう？どうすれば心の扉
を開いてくれるのかな？？
なんて考えたりします。
郷土愛で函館が好きだとい
うように、きっと中部高校
を愛する気持ちはみんな変
わらないはずだと思うんで
すね。勇気をもって一歩踏
み出してくれると、それが
やがて道となると思うので

すが。どこかで聞いたよう
な文句書いてしまいました。
東京支部は札幌より若い世
代が多いようです。ここか
ら何かヒントを見つけたい
ですね。
去年、伝統の一番若手に
よる懇親会の締め挨拶を
させていただきました。あ
の時約束してしまっただ
すよね。私は同世代を同窓

会に連れてきたいと。(早
くバトンタッチしたいので
す) この執筆中現在では
まだ見つかっておりません。
結果は目に見えているかも
しれません、もう少しお
声掛けはさせて頂きたいと
思っています。それでもこ
れは変わらずに喋っている
と思います。来年も笑顔で
再会しましょう！と。

平成20年度(第28回)白楊ヶ丘同窓会札幌支部総会アルバム

平成20年6月20日(金) 午後6時00分より KKR札幌ホテルにおいて開催。

平成20年度収支計算書

収入の部	
科目	金額
前年度繰越金	2,278,787
年会費	450,000
終身会費	180,000
総会懇親会費	293,500
雑収入	30,000
預金利息	1,813
収入合計	955,313
収入の部合計	3,234,100

支出の部	
科目	金額
総会懇親会費	275,200
講演会費	50,000
印刷費	189,448
通信費	250,966
旅費交通費	64,460
会議費	59,606
事務費	6,388
振替手数料	27,640
雑費	35,295
支出合計	959,003
次年度繰越金	2,275,097
支出の部合計	3,234,100



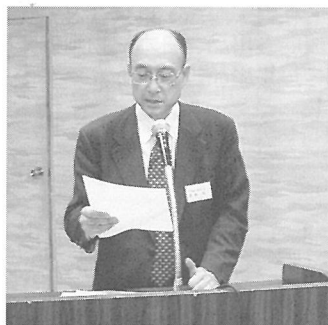
総会の議事をすすめる
荒川伸夫副支部長



総会司会を務める
川島ハツヨ副支部長



受付で、にこやかに対応する
幹事に、出席者の気持ちが和む。



議案を提案する酒井純幹事長

定例行事となった講演は、夕張リゾート(株)代表取締役西田吏利さん(第70期・昭和43年卒)。

加森観光入社以来、リゾート地再生事業に手腕を発揮し「破綻と再生」と題して、これまで手掛けてきた再生事業の本質に迫る講話をいただいた。



三ツ谷富夫同窓会会長



一本庄幸賢教授先生
鎌田佳勝同窓会幹事長



安田康次東京支部長



ならば負けじと、大先輩たちが「玄冥の北の一道……」と函中校歌を高らかに合唱。



「火柱のはためく峰も……」若い期が歌う校歌が流れる。



祝杯の音頭をとる
三浦祐晶元支部長

講演会

白楊ヶ丘同窓会札幌支部第29回定期総会・懇親会

平成21年6月19日(金) 午後6時/KKRホテル札幌

「花と出会って 人と出会って」

講師のご紹介
ご略歴



講師
安藤 牧子 氏

- 1967年 函館中部高等学校卒業(第69期)
- 1990年 子育てが一段落して後、カルチャー教室で3年間植物画を学ぶ
- 1993年 国立科学博物館主催 第9回植物画コンクールにおいて 文部大臣賞 <ヤマゴボウ>
- 1994年 第10回 同上コンクールにおいて佳作賞受賞 <作品 ハナマス>
- 1995年 道新文化センターにて植物画講座の講師となる
- 1996年 市立函館博物館で作品展示
- 1998年 石狩市広報の表紙絵となり、人物紹介される
- 2001年 カレンダーが第3回北のペーパーデザインコンテストで佳作を受賞
- 2004年 「日本の絶滅危惧植物図譜」製作に参加 <作品 サルメンエビネ>
- 2006年 カレンダーが第7回北のペーパーデザインコンテストで会長賞受賞

1995年以来、石狩・札幌・函館・東京などで計19回の個展開催、スペイン・オランダなど海外文化交流展へ出品、日本植物画倶楽部展・北海道植物画協会展・さっぽろ植物画同好会展に毎年出品、ポストカード・カレンダーなどを発行

函館中部高等学校校歌

作詞 函館中部高等学校教諭

藤原直樹

作曲 函館中部高等学校教諭

酒井武雄

一、火柱のはためく峰も

年古りて緑の臥牛

宇賀の浦風の砂山

波よせてくずれ流るる

見よや物なべてうつろふ

窮みなし流転の相

二、北の国雪深けれど

その底には草は芽ぐめり

野山荒れ鳥潜めども

やがて来ん春の光に

万象の蘇る見よ

ここにあり不滅の生命

三、白楊のささめく丘辺

秋深き梢仰げば

牙え渡る銀河の彼方

幽けくぞ星雲燃ゆる

胸に満つ久遠の思ひ

遙かなり真理の彼岸

四、限りなき流転の中に

生命あり不滅の学び舎

聞けや今窓の外遠く

新潮の入りくるひびき

よしさらば若人われら

踏まんなかな希望の門途

函館中学校校歌

(同窓会歌)

作詞 第二高等学校教授

土井晩翠

作曲 東京音楽学校教授

岡野貞一

一、玄冥の北の一道

関門の岸に臨みて

青春の薫にしるく

基おく育英の場

二、集い寄る千余の子弟

人生の花の綻び

身を鍛へ心を練りて

向上の一路を辿る

三、宇賀の浦万頃の水

駒が岳千仞の山

微を積みて高きに至り

滴より空をもひたす

四、形ある無言の教

仰げ我が紅顔の子等

業成らば双の方の上

興国の運も負へかし

五、母校の名子弟の誉

花と香と常に伴ふ

任重く道の遠きを

嗚呼健児勉めざらめや

編集後記



◇経済問題、健康問題など世界的な規模での変動が起きており、社会的な閉塞感が拡がっており、次は何が起きるのか予測が付かない。自分や家族や白楊ヶ丘同窓会会員に災禍が及ばないことを祈るだけである。

◇四季は巡って、また、会報発行の時期が近づき、五月半ばに、昨年の総会後の懇親会席上で、執筆をお願いした諸氏にお手紙を差し上げた。心地よく一時を過ごしていた同窓会で、突然、原稿執筆の重荷を背負わせてしまい、申し訳なく思っております。◇このような手法で会報のページが作られていたとなると、同窓会に出席する会員がいなくなる恐れがあるかも知れない。しかし、執筆を快諾され、寄稿された会員の心に残る一文が、会員の皆様に届くことになると思うと、今年もまた、執筆をお願いすることになる。

◇加齢に加え、アイデアも枯渇してきたことを自認し後継者を捜し求めていたが、今年度の会報編集は、一〇一期Sさんとの共同作業となった。バトンタッチすることができそう。◇あと三年で支部創立三〇周年を迎える。記念誌を作る機会到来。今から準備活動をすすめるべきである。

(長谷川)